

名大の時間

スポーツ共育について考える 地域と大学生の新たな連携づくり

これは、地域社会と大学生が協力し、スポーツを通じて地域の課題解決や社会貢献を目指す取り組みです。地域との緊密な関わりの中で、学生は地域のニーズや課題を理解し、具体的なスポーツプログラムを提供します。

例えば、名寄市立大学では「地域との協働Ⅱ」の一環として、地域のスポーツクラブと連携した「スポーツ共育」プログラムを展開しています。

このような取り組みは、地域の健康促進や社会統合に寄与するとともに、学生と地域住民との相互理解を深める貴重な機会となっており、またスポーツを通じた交流は、コミュニケーションの場を広げ、地域全体の活性化にも寄与しています。

例えば、今年度からは新たにバスケットボールクラブへの支援も始まりました。

最後に「スポーツ共育」は単なるスポーツ活動を超えて、地域社会との連携を通じた新たな社会的価値を生み出す可能性があります。そのためにも継続的な連携を目指し「つながる×つなげる」活動を推進していくことが重要だと考えています。地域の課題に対応しながら、スポーツを通じて地域社会全体の健やかな発展に貢献していく取り組みを今後も進めていきたいと思っております。

最後に「スポーツ共育」は単なるスポーツ活動を超えて、地域社会との連携を通じた新たな社会的価値を生み出す可能性があります。そのためにも継続的な連携を目指し「つながる×つなげる」活動を推進していくことが重要だと考えています。地域の課題に対応しながら、スポーツを通じて地域社会全体の健やかな発展に貢献していく取り組みを今後も進めていきたいと思っております。

な出会い、そして地域とともに



教養教育部准教授

清水幸子